

連携室だより

鹿児島医セン

鹿児島医療センター(心臓病・脳卒中・がん専門施設)

2023.9

vol.209

職場紹介

【東5階病棟】

東5階病棟は、脳血管内科・脳神経外科を診療科としており、SCU9床を有する定床50床の脳卒中専門病棟です。主な疾患は、脳梗塞、脳出血、くも膜下出血、頭部外傷、一過性脳虚血発作、めまい症や頭痛、けいれん発作など発症した患者さまを夜間や土日・祝日を問わず24時間体制で受け入れており、鹿児島県内の脳卒中医療の中核施設として治療・看護を行っています。治療では、血栓溶解療法（t-PA）や血栓回収療法、コイル塞栓術、脳動脈瘤頸部クリッピング術などが行われています。救急外来で迅速な診断・処置後はSCUで脳卒中発症直後の集中治療を行い、回復期へと切れ目のない継続した医療サービスの提供を行っています。



東5階病棟 スタッフ集合

看護の特徴としては、一般病棟とSCUが常に連携し、脳卒中急性期の全身管理及び術後管理を行っています。脳卒中疾患を発症された患者さまの中には、意識障害や手足が動かさにくい、言葉がうまく話せないなど、生活していくうえで大事な機能が低下することが問題となります。そのため、病棟では、医師、看護師、看護助手、クラークの病棟スタッフと共に、リハビリテーション科、薬剤部、栄養管理科、メディカルサポートセンター、と多職種で早期から患者さま・ご家族の意向を確認し、疾患を抱えながらも住み慣れた地域で過ごすことができるように、不安などに寄り添い、安心してその人らしく過ごせるような関わりを意識し看護を実践しています。また、脳卒中認定看護師、摂食嚥下認定看護師、認知症認定看護師といった専門性の高い看護師もチームの一員として勤務しており、多角的視点での看護ケアの方向性について検討し、より質の高い看護の提供を目指して取り組んでいます。今後も、患者さま1人1人が安心して入院生活を送り、笑顔で地域へ戻り生活してもらえるよう治療・看護に対する研鑽を重ね、明るく・笑顔で・チームワークを大切に、日々誠実に向き合う姿勢を忘れず、スタッフ全員で尽力していきたいと思っています。

(文責：東5階病棟看護師長 中本 恵)

心原性ショックとは？

補助循環用ポンプカテーテル (Impella®) 導入

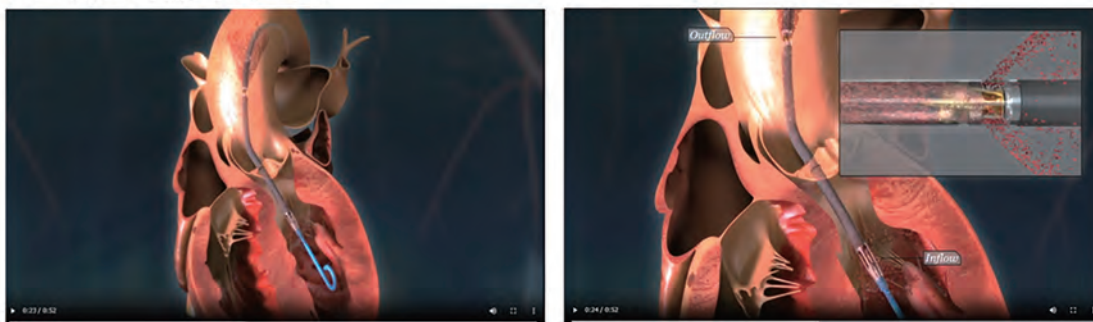
当院は鹿児島県の循環器診療の中心的な役割を担っており、重症や多くの疾患を有する患者さまに標準治療のみならず高度で複雑な治療を中央に遅れることなく、鹿児島の患者さまに安心安全に提供する責務を担っております。

特に急性心筋梗塞や不安定狭心症、致死性不整脈、重症心臓弁膜症、劇症型心筋炎、重症の急性心不全は迅速に集学的な治療が必要であります。当院では24時間、365日循環器医師が常駐しており、そのような病院は、鹿児島県には少なく、救急患者の受け入れのみならず、適切な治療を可能なかぎり迅速に施行し、救える命、救わねばならない命を落とさないよう体制づくりをおこなっています。

心原性ショックとは先述しました急性心筋梗塞や不安定狭心症、致死性不整脈、重症心臓弁膜症、劇症型心筋炎、重症の急性心不全のため、急速に循環不全に至り死亡に至る可能性が高い状態で、現状でも死亡率が高い病態で、特に心筋梗塞に伴う心原性ショックでは40～50%に至ります。このような救急の患者さまは病院で受け入れただけでは問題は解決せず、病態の把握、診断、治療には非常に難渋するため、冠動脈医、不整脈医、弁膜症医、心不全医、超音波医、心臓外科医、麻酔科医、そして多職種のコメディカル等のエキスパートから構成されたハートチームで治療にあたる必要があります。

心原性ショックには機械的補助循環デバイスを用いた集学的な治療が必要となることが多く、従来は大動脈内バルーンパンピング (IABP) および体外式膜型人工肺 (PCPS/VA-ECMO) が一般的でありましたが、日本では2016年より補助循環用ポンプカテーテル (Impella®) が承認されました。補助循環用ポンプカテーテル (Impella®) は経皮的または経管的に左心室にピッグテイル型のカテーテル挿入し、循環補助・左室補助を行う心内留置型のポンプカテーテルです。ポンプカテーテルに封入されたインペラと呼ばれる羽根車が回転することにより、左心室内にある吸入部から血液を脱血し、カニューレを経て吐血部から上行大動脈内に順行性に送血します。(図①)

図①：Impella®を用いた手技の様子

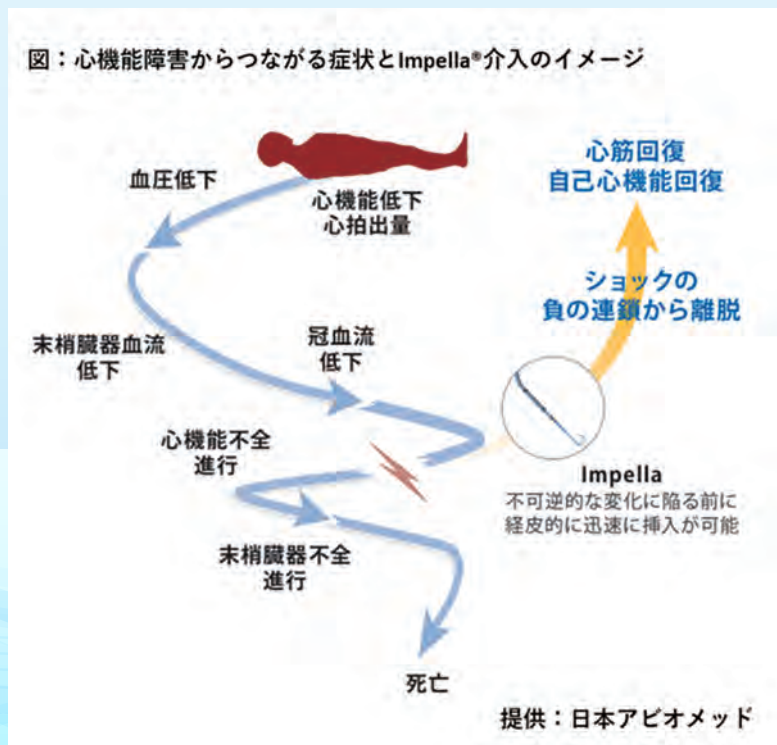


提供：日本アビオメッド

従来のデバイスと比較し、生理的に血行動態のサポートができることより、循環不全からの脱却に多くの期待が寄せられています。本邦への導入以後多くの知見が得られ、急性心筋梗塞では従来発症からバルーンやステントを用いて冠動脈拡張までの時間を少しでも短縮することが一番重要とされてきましたが、心原性ショックをきたした急性心筋梗塞では、バルーンやステントでの拡張までの時間短縮よりも、補助循環用ポンプカテーテル（Impella®）を用いて、まずは循環動態を安定させることがより重要となってきました。当院でも2022年4月に機器導入開始し、2023年7月までに11例の患者さんに使用し、今後、より多くの患者を受け入れ、精度の高い集学的な治療をおこないたいと考えております。このような治療を遂行するためには、ハートチームの存在は不可欠で、チーム一丸となって一歩一歩治療を実践して参ります。

そして当院は1981年建造の古い建物、施設ではありますが、多くの紹介病院・関連病院・救急機関との連携がより重要であると考えております。より一層の病院機能の改善をめざし、日々精進して参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

（文責：第一循環器内科部長 片岡 哲郎）



鹿児島医療センター 外来診療担当表(2023年10月) TEL: 099-223-1151 (代) 2023年10月1日現在

診療科	曜日	月	火	水	木	金
血液内科	初診	大塚 眞紀	原口 浩一	鎌田 勇平	大塚 眞紀	大渡 五月
	再診	大塚 眞紀 鎌田 勇平	大塚 眞紀 原口 浩一	大渡 五月 鎌田 勇平	大塚 眞紀 原口 浩一	大渡 五月
	移植後フォローアップ外来※	血液内科医師及び看護師(完全予約制)				
腫瘍内科				魚住 公治 (再診のみ)		
糖尿病・内分泌内科		郡山 暢之	児島 奈弥 牧野 美和	郡山 暢之	郡山 暢之 児島 奈弥	郡山 暢之
糖尿病療養指導外来※		糖尿病看護認定看護師				
消化器内科	消化管・胆膵	井上 和彦 梶原 涼	福森 光 和田 竣太郎	福森 光 梶原 涼		井上 和彦 和田 竣太郎
	肝臓	櫻井 一宏	森内 昭博	櫻井 一宏	森内 昭博	櫻井 一宏
腎臓内科		古庄 正英		「手術日」	古庄 正英	
第一循環器内科		中島 均 福永 研吾 田方 健人	片岡 哲郎 高崎 州亜	中島 均 野元 裕太郎	中島 均 1循医師	高崎 州亜 沖野 秀人
第二循環器内科 *弁膜症外来 火曜日		馬場 善政 園田 幸一郎	田中 康博 東 健作 平峯 聖久	藪田 正浩	田中 康博 石川 裕輔 伊集院 駿 中別府 麻里	藪田 正浩 長野 真二郎 松本 洋之
不整脈治療科		塗木 徳人		塗木 徳人 蔡 榮鴻		塗木 徳人
脳・血管内科		松岡 秀樹 濱田 祐樹	松岡 秀樹 高口 剛	松岡 秀樹 西 萌生	松岡 秀樹 高口 剛 (午後のみ) 濱田 祐樹	松岡 秀樹 高口 剛 岡田 敬史
小児科 *心臓健診 月曜日～金曜日		田中 裕治 楠松 貴成 二宮 由美子 石川 香織	田中 裕治 楠松 貴成 二宮 由美子	田中 裕治 楠松 貴成	田中 裕治 楠松 貴成 二宮 由美子 石川 香織	田中 裕治 二宮 由美子 吉永 正夫
放射線科	放射線治療	上山 友子	上山 友子	上山 友子	上山 友子	上山 友子
	画像診断 CT・MRI・RI	井手上 淳一 桑水流 絵梨奈	井手上 淳一 長野 えりな	桑水流 絵梨奈 長野 えりな	井手上 淳一 桑水流 絵梨奈	井手上 淳一 長野 えりな
心臓血管外科		峠 幸志		金城 玉洋		立石 直毅
外科・消化器外科			塗木 健介 高取 寛之		塗木 健介 高取 寛之 宮崎 俊明	
脳神経外科 *水曜日は、手術日のため外来診療休診		久保 文克	久保 文克	「手術日」	今村 純一 (完全予約制)	松田 大樹
婦人科 *完全予約制		神尾 真樹 徳留 明夫 穂原 光	神尾 真樹 徳留 明夫 穂原 光・東 拓郎	「手術日」	神尾 真樹 徳留 明夫 穂原 光・東 拓郎	神尾 真樹 徳留 明夫 穂原 光・東 拓郎
耳鼻咽喉科 *完全紹介制(初めの方は医師の紹介が必要です)		松崎 勉 西元 謙吾	「手術日」	松崎 勉 西元 謙吾	「手術日」	松崎 勉 西元 謙吾
泌尿器科 *火曜日は、手術日のため外来診療休診		川平 秀一郎	「手術日」	川平 秀一郎	川平 秀一郎	川平 秀一郎
皮膚腫瘍科・皮膚科		松下 茂人 青木 恵美 西原 克彦 平野 慎悟	「手術日」	松下 茂人 青木 恵美 西原 克彦 山本 宗太郎	「手術日」	松下 茂人 青木 恵美 西原 克彦
眼科 ※ 外来診療のみ		町田 碧	町田 碧	休診	町田 碧	町田 碧
歯科口腔外科		中村 康典 大河内 孝子	中村 康典 大河内 孝子	中村 康典 大河内 孝子	中村 康典 大河内 孝子	中村 康典 大河内 孝子
※ 専門外来	医師	緩和ケア外来・松崎 勉		腹水外来 櫻井 一宏		がんゲノム医療相談外来 鈴木 紳介
	看護師	フットケア外来 糖尿病看護認定看護師		リンパ浮腫外来 リンパ浮腫指導技術者	ストーマケア外来 皮膚・排泄ケア認定看護師	
セカンドオピニオン外来※		循環器疾患、心臓血管疾患、脳血管疾患、がん、悪性新生物、血液疾患				
『健康診断』 受付 午前8:45～10:00			第一循環器内科	第二循環器内科		脳・血管内科

受付時間 午前8時45分から11時00分まで
 診療時間 午前8時45分から午後5時15分まで*ただし、急患についてはこの限りではありません
 休診日 土・日曜日・祝日及び年末年始(12月29日～1月3日)
 ※移植後フォローアップ外来・糖尿病療養指導外来・専門外来・セカンドオピニオン外来については完全予約制となっております。事前に電話確認をお願い致します
 *不在予定医師につきましてはお電話またはホームページにてご確認ください
 *歯科診療に関しましては当院入院患者さまのみとなっております
 予約センター
 ・専用FAX: 0120-334-476 ・専用TEL: 0120-680-704

■お問い合わせ先 独立行政法人 国立病院機構 **鹿児島医療センター**(心臓病・脳卒中・がん専門施設)
 〒892-0853 鹿児島市城山町8番1号
 (代)TEL 099(223)1151 FAX 099(226)9246 <https://kagomc.hosp.go.jp/>
メディカルサポートセンター
 地域連携室専用FAX▶099(223)1177
 ※休日・時間外は当直者で対応します。

